人権の尊重

～上杉謙信の義の心に学ぶ
人権意識向上委員会の活動～

社会福祉法人　上越頸城福祉会
障害者支援施設　さいはま園
障害支援課長　中村敦子
サービス管理責任者　田中宣行

上越忠義隊けんけんず (C)上越市

1.この課題を選考した理由

基本理念
利用者一人ひとりの
尊厳の尊重

＋

行動指針
差別･虐待･人権侵害
の排除

↓

『どう行動すればよいか？』

2.今日、お伝えしたいこと

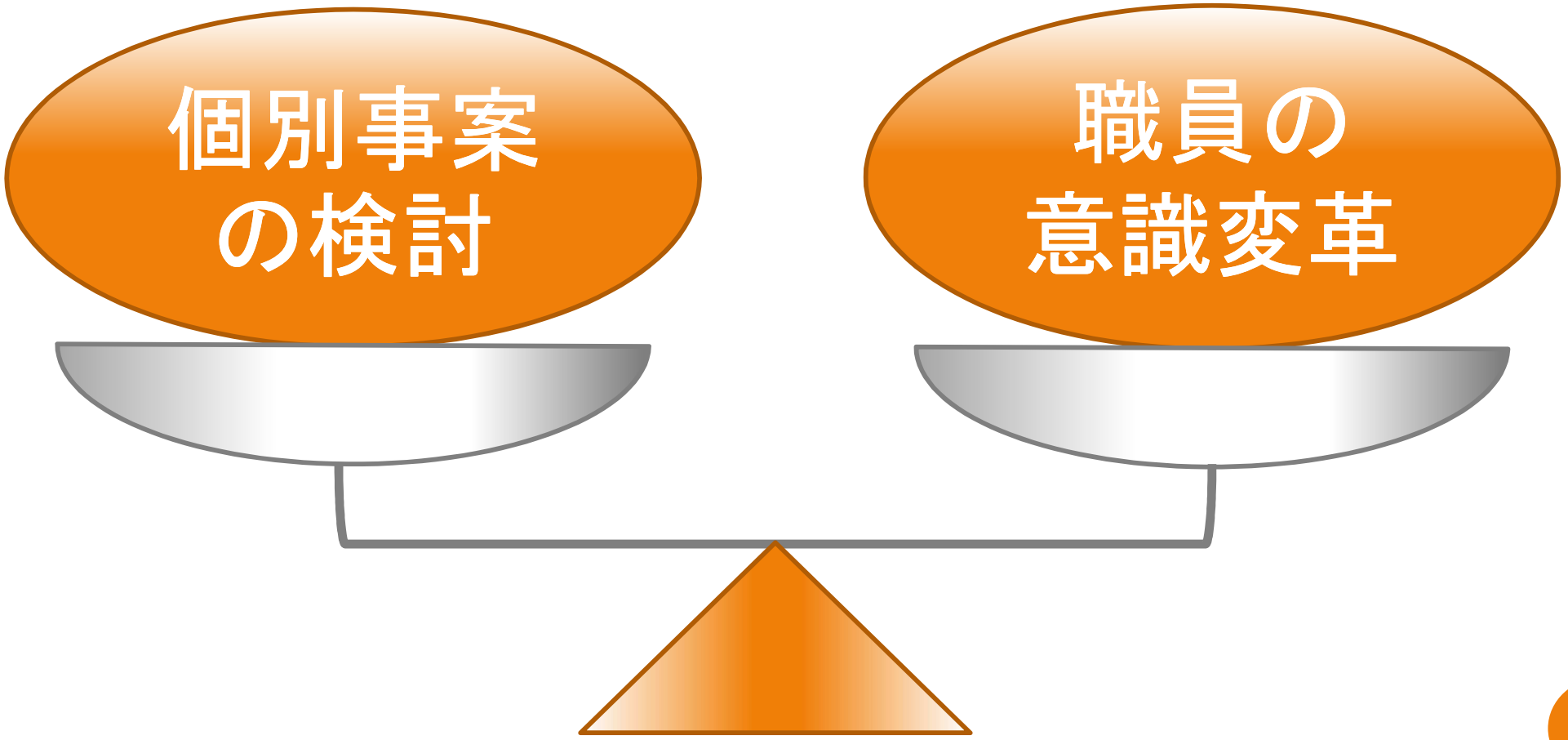
施設からの方針発信の重要性

- 人権の尊重＝見えないからこそ重要

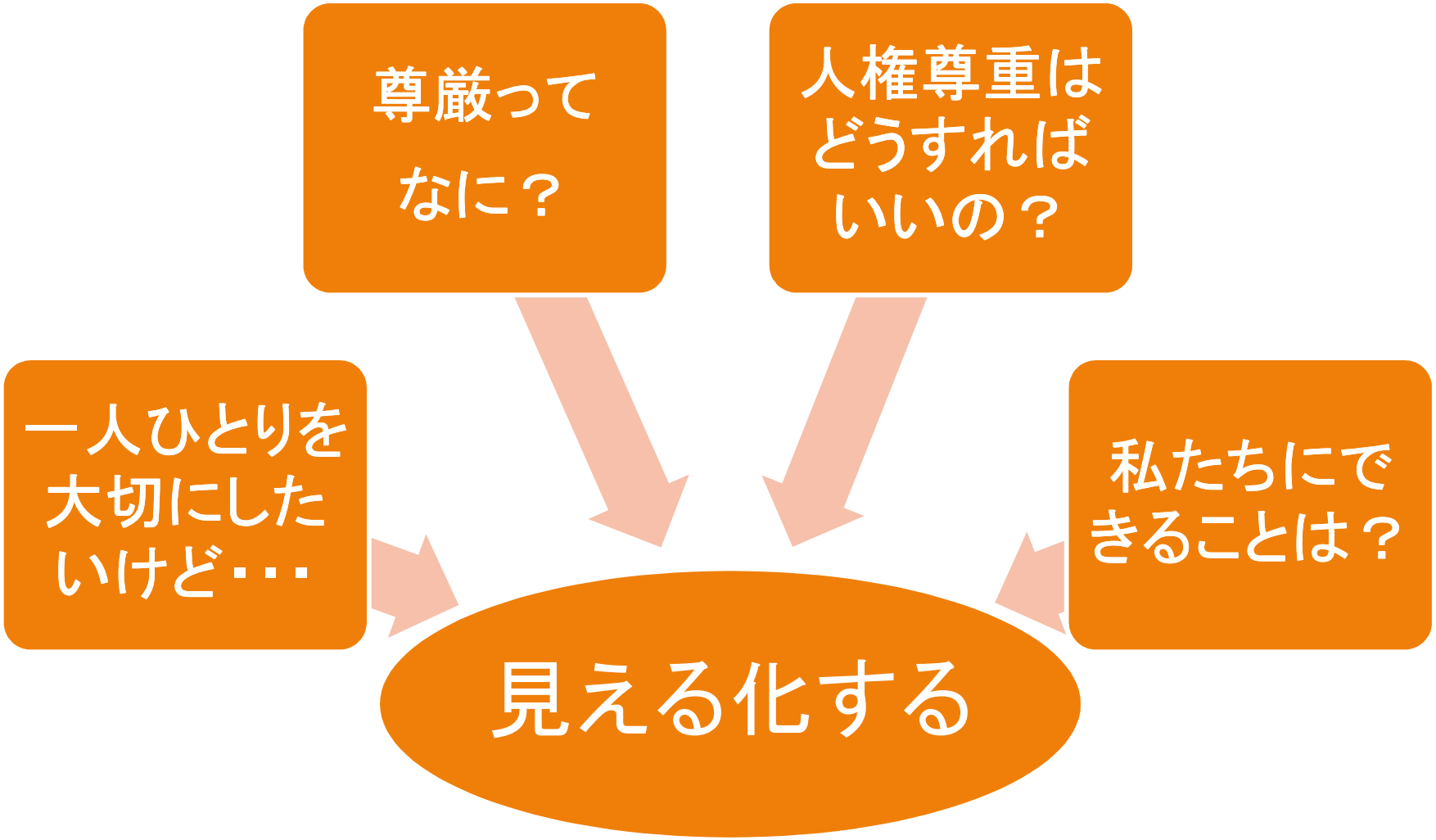
この取り組みでの成果

- 職員自らあるべき姿を導き出した
- 人権意識向上委員会の議論が変わった

3.見えないからこそ重要



4.施設から方針発信の重要性



5.具体的な取り組み

- 職員集会で指針説明
- 自己評価と振り返り
- **意見交換やあるべき姿を導き出す**
- 今月の目標掲示と評価
- 各部署での目標設定と話し合い

6.自己評価から見えたもの

意欲低下

言訳　　批判

面倒くさい

あるべき姿

7.職員自らが導き出したあるべき姿

4月の人権意識向上のための留意点

『身体拘束や体罰を常に意識し、絶

- どれが身体拘束・体罰なのかよくわか
- 多動な人を無理矢理座らせている。こ
- 忙しいときは、無視しちゃう。言って
- 危険な場面は、行動を制限してしま
- 忙しかったり、余裕がない場合は
- 声をかけても理解できない利
- 無視や無関心な態度をし

8.委員会での議論の質が変わった

身体拘束ゼロ推進委員会

- 何をするか分からない
- 議題もない
- 取り組みは中途半端

人権意識向上委員会

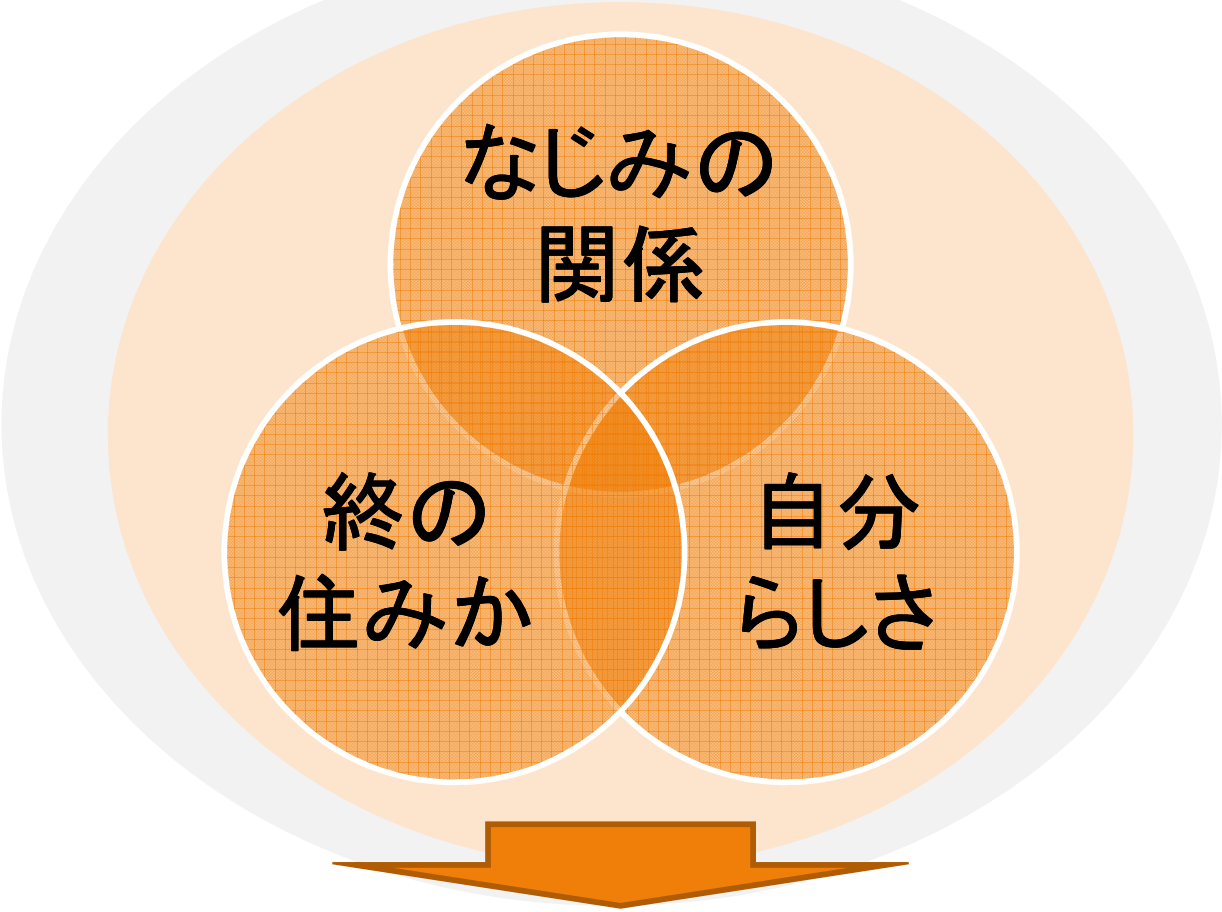
- 取り組みが分かる
- 施設の理念や方針が明確
- 評価がある
- 人権について話し合う

9.職員の意識変化と3原則

意識 × 行動 × 精神

意識	人権と尊厳を常に意識する	• 権利や人格侵害の排除
行動	自分がされて嫌なことはしない	• 他者を傷つけてはならない
精神	義の心	• 道理や倫理を持つ

10.次なる目標は「看取り」



尊厳を考えた「看取り」が出来ないか

11.上杉謙信に今後も学ぶ

人権と尊厳

嫌なことはしない

義の心

手のひらにやさしさを
こころに3原則を

ご清聴ありがとうございました。

よいか
「義の心」
じゃぞ！